

全日本トラック協会 令和2年度「重さ指定道路」 に関する追加指定要望の 受付

全日本トラック協会では、本年4月に実施した「渋滞箇所及び駐車スペース等に関するアンケート調査への協力依頼について」において、特殊車両を運行している事業者を対象に『特殊車両の通行制約箇所』を調査した結果、新規格車による道路通行時の重さの最高限度を25トン（道路法における一般的制限値は20トン）とする「重さ指定道路」の拡充に係る要望が多く寄せられました。この結果を受け、今般、関係行政への要望に向け、「重さ指定道路」について、左記とおり追加指定要望を受け付けるといたしました。

■追加指定要望の条件

重さについて、車両総重量25トンにて特殊車両通行許可が取得可能な区間であること。

■提出書類

「要望区間表」(Wordファイル)

※当協会ホームページよりダウンロードできます。

■提出先

(一社) 石川県トラック協会

全日本トラック協会 令和2年度「トラック運送業界 における点検整備推進運動」 9月は全国統一の強化月間

トラックによる交通事故は重大事故に繋がるものが多く、特に大型トラックでは、重大事故につながりかねない車輪脱落事故が多発しており、車輪脱落事故や不具合等による事故防止をはじめ、環境面においても排出ガスによる大気汚染や地球温暖化問題への対応が求められています。

さらに、日常点検、定期点検などによる点検・整備の実施が義務付けられているものの、その実施状況は必ずしも十分とは言えず、また、平成30年10月1日には車両総重量8トン以上のトラックのスペアタイヤ等が新たに3ヶ月毎の定期点検項目に追加されるなど、不正改造の防止とともに、確実な点検整備の実施を徹底して行く必要があることから、令和2年度「トラック運送業界における点検整備推進運動」実施要領により、不正改造の防止とともに点検整備の確実な実施を図るようお願いいたします。

日本気象協会 悪天候時の輸送安全を支援 する物流向け新サービス

日本気象協会は、悪天候時の輸送安全を支援する物流向け新サービス「GOSTOP（ゴーストップ）マネジメントシステム」を、本年6月1日から全国で提供を開始しました。

「GOSTOPマネジメントシステム」は、近年特に激甚化している気象災害に対して、物流事業者から事前に対策を行いたいという要望を受け誕生したもので、全国の高速道路を対象に、気象による輸送影響リスクを悪天候の72時間前から、地図や表によりひと目で確認できるWebサービスとなっています。

尚、利用料は月額定額制で、台風シーズンである6月から9月末までの4カ月間は無料のトライアル期間となっております。

■本システムは、「ホワイト物流推進運動」の取り組み「異常気象時の運行中止・中断の判断」や「異常気象時における措置の目安」に活用することも可能となっています。詳しくは、日本気象協会のホームページをご覧ください。

<https://www.jwa.or.jp/news/2020/05/9795/>